

刊夕 日十月三

# 常 新 日 報

日 刊

定價 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元 郵費在內

發行所 常新日報社 東京市千代田区千代田三丁目

電話 六三〇〇

印刷所 常新日報印刷株式会社

創作

## 死を撰ぶ人々

長瀬 忠夫

（三）

机上の露氣スタンドは鈍い微光を發し、突然消えた『停電だ』と叫ぶ聲に引換へに下宿の一番小さな娘清子の可愛らしい聲もきこえる。『お兄さん今直ぐ蠟燭を持って行つてあげますよ、待つて居てね』夫等に對する何の反應も無く彼は黙々として此眞黒闇の中の只一つの光源即ち彼の眼だけが壁の一端を凝視して居た。

『お兄さん蠟燭を持つて来ました』と右手に燭臺を支へあぶなつかしい足附で恐る／＼入つて来た。瞬間電氣がついた。『まあ、もうついたのね』と折角の骨折が無駄になつたと言わん許りの歎聲を洩した。清ちゃん有難う』と言ふ彼の言葉を聞いてさうも安心したと云ふ身振り目目のクルリとした可愛い、オカッパの幼児は初めて蠟燭を吹き消し足音をバタ／＼と去つて行つた彼はそんな事に向無頓着であつた、何處を風が吹くと言ふ様子で、不自然な電燈の光——吹き消されようが消えさせ様が——青白き

顔それと對照して、何物をも射通す殺氣にたつた眸は白壁の一端を凝視して居た。俺は田舎へ戻らう、過去をさらけ出し、父に謝罪し千代子との結婚を許して貰はう、だが失望の父の歎きは、いや正しい道に俺は進むのだ、周囲の反感は取るに足らぬものだ、哀れな千枝子、俺の歸りを待つ千枝子よ、待つて居て呉れ。暗黒も光明も彼の頭脳には受入れる神經は麻痺して居た。そして千枝子の顔が消えたかと思ふと三年前の靜江の顔もチラツと浮ぶ、同僚の持ち來したフロリダのナンパーワン靜江の寫眞は直観してモンストール時代の靜江

色だつた。ダンスに自信のある彼は自己の惱みと患者の訴へる苦痛の涙とがゴツチャになつて享樂を追求する彼の足をフロリダに向けるのだつた。昔の靜江は敏夫に好意を持つて呉れるならうと考へたからである。

▽ △

『此處でよいんですよ』と言つて靜江は五拾錢玉を運轉手に手渡した、同時に『靜江さん、僕が出しますよ』

## 文藝募集

と男の聲がした。吉屋信子が『女の友情』をものしたと云ふ×××町の文化アパート此處が靜江の住居であつた。『どうも有難度う』靜江はステップに足をかけた不圖忘れ物でもした様に振り返ると愛嬌ある微笑を投げかけて松野に手を差出した。松野敏夫は以外な別れの握手にドギマギした。そして慌て、靜江の手をとつた。『やななら』と言つて見たが何となく心残りした靜江は強く握り返へしながら『ちよつと寄つて居らっしゃらないこと？』と敏夫を誘つて見た、多分來ないだらうと思つた。松野は靜江の後からついて來た。

○明日の献立○  
●朝 味噌汁 ほうれん草 小付 あみの佃煮  
●晝 油揚げ御飯  
●晩 ビーフステーキ 野菜サラダ

スガノヤの……

## 三月 ヒナ人形 陳列賣出し

本年新型人形 オボコ人形 變りヒナ

小道具類一式 十五人揃セット

各種豊富に陳列致しました  
是非御來店の程お待ちしております

平町四丁目

### スガノヤ提灯店

電話九五番

◎夜十時迄

## 三月 雛人形陳列

桃の節句が近づきました  
可愛いお嬢さん方のお祝には  
フクダヤの雛人形

本年の特製品、セツト物  
古代人形、童謡人形等々  
あらゆる種類を集めました  
ぜひ御一覽下さい

- ◎一人物箱入 三十錢 ヨリ
- ◎二人物箱入 六十錢 ヨリ
- ◎御殿付内裡 壹圓 ヨリ
- ◎セツト物 百圓迄

其他いづらでも揃つて居ます

### フクダヤ祝品部

平二丁目

## 古レコードと蓄音器買入

皆様の御家庭にて既に御不用となつたものでも何處の店よりも高價に買ひます

平町三丁目

### 天地堂

電話五八九番

## 生徒募集

（一）本科 五十名 （二）裁縫専修科 百名  
（三）専攻科 三十名 （四）師範科 二十名  
（五）本科裁縫専修科第二學年補欠若干名

文部大臣 認可

### 藤田女學校

一、願書受付 三月三十日まで  
二、詳細ハ學則請求ノコト

平町田町（電話三二八）

## 躍進日本の女性に！！

婦人の職業として、家庭の衛生學として  
産婆看護婦を御奨め致します  
それには成績の最もよいと定評のある

### 平南町 産婆看護婦學校

◆申込み成るべく早く  
◆新學期の開始は四月八日より

### 平産婆看護婦學校

校長 清野キヨ  
（電話三〇七番）

## 生徒募集

第一學年 臺百名 出願期 四月四日まで  
第二學年 若干名 新學期 四月四日より  
受験科生 若干名

創立 卅年

### 磐城青年學校

平町城山

學費低廉、獎學金の給與、基礎益々鞏固、内容年と共に充實、鐵道其他受験講座特設

福島縣平町二丁目

### 西村屋藥舖

藥劑師 鈴木堅助  
電話 三三番  
振替（東京六、二九九）  
（仙臺一、二〇一）

# 公會堂は何處へ

## 分れた賛否兩論

### 選定委員の態度注目さる

平町の公會堂建設案は昨記の如く敷地の適否に關して議論が對立し遂に何處に敷地を求むべきかを選定委員に一任する事とし豫算面からその費目が委を消した右委員は同建設と關連性のある第四小學校敷地委員及び土木委員等と共に明日午後一時から役場に會同第一回の協議會を開く筈で解決の鍵を握る選定委員の態度は今後注目の焦點に置かれてあるが此の機會に敷地の賛否に關する意見を紹介する

〔原案支持派〕公會堂の如く多數の人々の集合する建造物は市街地を離れない事を理想とすべきである、博覽會跡の町有地が必ずしも理想の完璧たる地点とは考へられないが市制實施の計劃を目標の間に控え本年中に實現を期さねばならぬ急に迫られて居る事を思ひば此際多少の意に添はざる點は忍んでも一日も速やかに建設の運びに至る様努むべきである、反對者は此の敷地を拂下て財源に當り新川以南の安い田地を買収し町民の負擔を軽減せよと云はるゝが此の敷地は最高坪十

五圓以上に賣る事は至難であり新川以南の田地は既に第四小學校やグラウンドの設置が確定した今日その附近は以前の様に安く買はれるかどうか是れも仲々面倒であらう、さうだとすれば敷地を變更しても算盤の上では大した差でなくなり町民の負擔を軽減する處か埋立や道路等に餘計な日數を要し實現が遅れる事になる

〔原案反對派〕新川以南は今後益々進展性のある地點であるから此處に敷地を求めた處で人里離れた場所とは考へられない、又博覽會跡の地點から云つても大して離れる事にはならないから人々の集合に不便を來すとも考へられない、原案の博覽會跡は千餘坪に過ぎず甚だ狭少である、こんな狭い場所は無理をして建てるよりは、是れを賣つて公會堂の財源に當て値段の安い土地を廣く買収した方が宜しい博覽會跡なら市街地であるから坪廿圓には賣れる、新川向ふの田地は買収費と埋立費とを合して一坪十圓に見れば大丈夫と思ふ、然らば此の差額は町民の負擔を軽くする事が出来る

〔町當局の意見〕公會堂の建設は多年の懸案であり且つ今日では是非此の機關の必要を痛感して止まぬ状態にあるので先般町會議員の各位に御協議を願つた際、博覽會跡が好適地であると決定したので縣廳の營繕課に設計を依頼し建築費六萬五

千圓、附帶工事費一萬一千圓、備品費四千圓を計上して十一年度の豫算に組み込んだのであるが財源として起債の六萬圓と寄附金の二萬圓を充當する事になつて居り是れに反對があつては起債も遅れ寄附募集にも困難を來す事となり仲々年度内に實現を見ると云ふ事は面倒となるので何んとか

## 市街美化に 主力を注ぐ

### 平町の土木事業

平町十一年度に施行される土木事業は先づ臨時部に於て縣社前から材木町を貫ぬいて新川端道路に連結する工事の二千九百五十七圓、堤の内正月町の道路改修四千圓、二丁目横町(谷口前通り)の舗裝一千五百六十圓、仲田町舗裝一千七百八十圓、仲間町道路改修百五十圓、排水工事では古鍛冶町から堂の前に至る伏管

個人所得營業收益等の 申告申請に就て (1) 高屋稅務署長談 今月は個人所得營業純益の資本利子等を政府に申告し同時に各種の控除を申請する月であります。その期限は三月十五日で、この期限に遅れると控除(扶養家族の控除又生命保險料の控

除)の申請が無効になることを特に御注意願ひます。個人の所得は所得稅法上は第三種の所得に屬し、個人は一切の所得を綜合課稅する趣旨のものであります。従つて各人の身分職業の別

同五百圓等が主なるもので其他砂利敷きや土留等の美化を圖つて居る

## 更生途上へ

### 躍進の好間村

#### 協力して借金返済

好間村經濟更生指定村になつて以來着々その成績を擧げてゐるが過般縣經濟更生課の矢島技師が更生状況を視察、昨九日縣に報告、口を極めてその完備振りを激賞してゐるが同村は人口約一萬二千中の三分の一が炭礦從業者で經濟更生に當つて炭礦は近々一萬圓を村當局に寄附して村の生産物は殆ど炭礦で消費する全くの隣保共助の實を擧げ、ために從來の借金を清算して一戸當り借金が僅か三百五十圓に減少、亦六部落全部に共同作業場を設置して

## 水道

### 着工事業

平町が十一年度を迎へて着手する水道事業は左記の如くである  
△長橋町、六時管の伏替繼續一千二百六十五圓△舊城跡、六時管伏替一千二百圓△新町、鐵道線路西方に延長三百九十五圓△正月町六インチ管延長一千六百八十五圓△北目町及田町消火栓改造七ヶ所五百四十四圓△第三小學校前外十三ヶ所、消火栓管繼續百二十二圓△長橋町外二ヶ所、架渡改造二百卅八圓

## 北目の出初式

北目町消防組は十三日午前九時より恒例の出初式を行ひ終つて同町淡島神社で祝宴を催すと

# 帝都事變の

## 殉職警官に贈金

### 平署管内消防組頭が決議

平署管内消防組頭會は昨九日平署會議室に開かれたが其の結果、去月中の帝都事變の殉職警官遺族に同情し廿二名の組頭が一人一圓宛贈金して弔慰金を贈ることとを決議、尙管下消防組總會は花の四月十九日午前八時から警中で開催、五百名の出席者ある見込み

## 入學試験 願書受付

平町各中等學校の入學試験は残すところ二旬の後に迫つたが今日現在各校の入學願書受付數左の如し  
△警中五八△平商二二△警女六三

## 揚泉中止決議に 町當局反對

### 一部策謀家に 誤らるゝなと

(既報)湯本町々民大會で決議した温泉開鑿工事中止問題は町當局が温泉復活事業として既に工費十萬圓を以つて着手したもので更生途上にある全町民に大きな衝動を與へてゐるため町當局並に愛湯會では本十日「温泉復活工事は町會その他あらゆる機關を経て合法的に着手したもので町全体の更生を期すものであり、一部策謀者の蠢動でこれが實現を誤まれる様なことなく全町民は絶対に町當局を信頼して欲しい云々」と云ふ主張辯明書を發表町民大會の決議を反駁、町民へ呼びかけた

## 種初給與 事務打合せ

本月下旬平町で縣は昨年度縣下凶作地町村に對して種初を給與することになつたがそれに先きだち縣社會課小林、小針兩課は來る廿四日頃來郡平町役場に左記町村參集して種初給與事務打合せを開くことになつた  
▼石城郡下凶作地町村並に▼双葉郡龍田 上岡 富岡 熊町 大野  
平町壯丁除隊 平町杉平鈴木重造君は昭和八年十二月より獨立守備步兵第六大隊に在隊中の處滿期除

## 航空隊で 人夫を求む

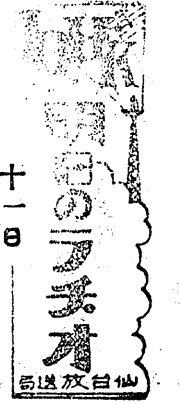
隊になり明拾一日午後三時十七分平驛着下り列車で歸平する  
平職業紹介に今般千葉縣木更津航空隊から工事人夫並に土工五十二名の求人申込があつたが年齢十八才以上五十才未満者で賃金は人夫九十五錢、土工一圓十五錢他に二歩の歩増あり當初は人夫として就勞順次土工に昇進される筈で飯場料は五十錢で寢具、食費、入浴等を含まれてゐる由、尙雇傭期間は短期八月迄であるが希望者は同紹介所宛に問合せられたいと

## 長唄と 舞踊を 晴己會試演

「今迄は稍もすると舞踊や和樂を單なる道樂であるとか、花柳界の獨占物であるとかいろいろとゆがめられて考へられたので

## 新しい講堂 今日初めて使ふ

ネオ、ルネッサンスの建築美の粹を蒐めた縣下一を誇る警城高等女學校講堂は見事な電飾装置、窓掛、椅子其他の一切の設備が完了したので今日日の陸軍記念日を以て八百の生徒が待望の講堂使ひ初めを行つた、尙



今日の天気 今夜は晴明日も同様

## 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 偉人物語「大村益次郎」東京放送童話研究会
- 後六、二五 青年の時間 「青年時代の中江藤樹先生」石川謙
- 後七、三〇 趣味講座「劇團のいろ／＼」長谷川伸
- 後八、〇〇 吹奏樂 陸軍

## 明日の部

- 後八、三〇 浪花節「乃木將軍傳(孝子辻占賣)」東家樂燕
- 後九、一〇 軍歌獨唱 内田榮一
- 後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 番組豫告

## 陸軍記念日と 平町各學校

平町各學校は今日日の陸軍記念日に際し夫々左の如き催しに依つて奉天の激戦を顧みたり  
△警中横須賀鎮守府出仕海軍中佐千葉惠藏氏の軍事講演△平商佐藤配屬將校の軍事講演△警女正木校長講演△平町各小學校學校長講演及び忠魂碑參拜

## 裁判所の話

平窪小學校今年度卒業生五十四名は今日日擔任訓導引卒の下に出平區裁判所中島監督判事より「裁判に關する話」を聞いた

## 丸市屋の慶事

平町四丁目丸市屋魚問屋志賀盛榮氏長男榮一君は山崎清三氏夫婦の媒約に依り今日磯

## 幼女大火傷

ガンの火  
内郷村大字宮磐城炭坑坑夫吉田保二女はま子(三)は八日午前十時半頃自宅附近で二、三の遊び友達とガンと稱する焚火で暖を取るうち着衣に引火股間に全治三週間の重傷を負つた

## 診療班の 扱つた患者

昨年度中郡下で縣の巡回診療班が取扱つた患者數は二千九百九十四名で治療延日數は三萬九千二百八十一日の驚くべき數字を示してゐる

## 裁縫擔任教諭

警城高等女學校は裁縫家理科の專任教諭欠員中の處此程小名濱實業女學校武藤ヨシ教諭の就任決定し昨日新任

## 木炭同業協議

演三郡木炭同業組合評議員會は十四日午前十時から平町團體事務所開會、十一年度豫算その他を附議する、尙同組合代議員會は十五日午前十時から浪江公會堂で開き豫算決算を附議する

## 内郷豫算

十三萬四千圓  
内郷村の十一年度豫算は十三萬四千四百四十六圓で昨年と比較して百九十圓の増加を見た戸數割は八圓八十五錢に決定

## 高久教室増築

高久小學校は兒童數の増加に依り狹隘を告げてゐたがこの程の村會で總工費一萬五千圓で五教室を増築することに決定、本月中旬より着手七月下旬に落成の豫定である





（著者） 悟道軒圓玉（作） 丸尾至陽（畫）

六八 公方様のため

松「何んだ俺を送ると、さアその繩で送つてくれ、久し振りだ友達に會へるんだ傳馬町の御牢内にゐるもの、はもう松は來さうなものだと疊算をして待つてゐるだらう」

といつた時に松について來た水屋敷の若い者は近常の前へ進みより

○「松兄イを送るならば俺たちも送つてくれ、しかし常、兄イを送ることは出来なからう」

常「何で送ることが出来ねえ」

○「これを見る、この法被が切れてゐるぞ、この法被を何だと思ふ、淺黄木綿でこしらへたものだが、背中に水の字が白く抜いてあるこれは水屋敷のしるし物だ水屋敷は公方様の召上る御膳所の水を……御膳所といふは台所のことやまた料理場のことだ、その水屋敷のしるしものをわねが破いては御用聞きだとしてそのまゝにはすむめえ、立派な役人がこの喧嘩についてしらべることになると大切の御印物を誰が切つたと聞く、その時に近江屋の常といふ間

ツ引が子分に喰付けて破りましたと申し立てたならばわれは十手と捕繩を取り上げられて傳馬町に送りなるだらう、知つてゐるか傳馬町は大商人んばかり居ると



ころぢやアねえぞ、燈心と油のねを國もある、それは牢だ、岡ツ引が牢に入つた上は佛にならざるア出られねえぞ」

てましてこゝは内済にいたます、ヤイ松、殿様にお禮を申せ」

常「何いふ、殿様、この松は悪い奴でございます」

青「急所をおさへたな、これ常、このことは表向にするや貴様も迷惑いたすであらう、此奴らの申す通り捕繩に十手を取り上げられ次第に依つては入牢にもなる依つてこの喧嘩は俺に任せろ、扱ひ人は時の氏神と申すこともある、それとも松をはじめこの者共になわうつて町奉行所に引き立てるか、敷を叩いて蛇を出すとはこの事であらう」

常「こゝで考へた彌太郎が仲人、今日は村松町の刀屋まで行つたその戻りに青木がその家の前を通行するとこの騒ぎ、それで仲裁いたした、青木と近江屋の常とは身分には相違があるが懇意な仲、まづこゝは波風もおさまり目出度く手うちも濟み、松は水屋敷に引き取つたが翌日三河町の佐野屋に出て來て小指を切つて五兩借りた、その元金に利を添えて戻した、佐野屋もこの金は取りにくひ何卒指の御療治代にしてくださいともしたが松は受け取らぬ、それより本所割下水の青木彌太郎の酒を五升もつて禮に行く、その時に青木が

開院

外科一般特ニ内臓外科

皮微科 肛門病科

北川外科

レントゲン科 物療法科

平町新川町(諸橋醫院跡) 醫學博士 北川 芳夫 醫學士 奥 義弘 電話 四六四番

産婆看護婦 募集

願書締切 四月五日迄

平町一丁目

石城産婆學校

電話三五七番

しもやけ家傳藥

是マデしもやけハ暖カニナラネバ治ラヌモノト諦ラメテ居ツタノガ一日二三回二三日ノ御使用デクズれたしもやけモ忘レタ様ニ完全ニ治リマス。

現今ノ塗藥トハ異リ惡法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。しもやけハ寒サノ爲ニ皮下毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノ塗藥等デハ決シテ治ルモノデアリマセン、又クずれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリカゆみラ増シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中心地良イ惡法ニヨリ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子様方ニモ喜バレ如何ニクすれはしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス是非一度御試シ下サイ。

東京丸井邦寶堂 平町一丁目 伊藤石炭店 電話三四九

Advertisement for '造花' (Zohana) featuring '花環' (Floral Wreath), '神佛葬具' (Shinto/Buddhist Funeral Items), and '靈柩自動車' (Coffin Car). The address is '平新川町 橋本屋' (Hirashinagawa-cho, Hashimotoya) with phone number '三六一電'.